

第1学年 保健体育科学習指導案

令和 年 月 日 曜日
第1学年 組 (男子 名、女子 名)
場 所
指 導 者

1 単元名 体育理論「運動やスポーツの多様性」(運動やスポーツの多様な楽しみ方)

2 単元の目標

- (1) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。(知識)
- (2) 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)
- (3) 運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むことができるようにする。(学びに向かう力・人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は「中学校学習指導要領 保健体育編」の「H 体育理論 1運動やスポーツの多様性」である。本単元の内容である「スポーツの多様性」については、(ア) 運動やスポーツの必要性和楽しさ (イ) 運動やスポーツへの多様な関わり方 (ウ) 運動やスポーツの多様な楽しみ方で構成している。また、今年度は新学習指導要領への移行期間であり、移行措置として (ウ) 運動やスポーツの学び方を単元内容に含める。具体的な内容としては、運動やスポーツにはその種目や領域に応じた学び方があることや、運動やスポーツは人々の多様な必要性や独自の楽しさによって支えられ発展してきたこと、運動やスポーツには、する、みる、支える及び知るなどの多様な関わり方があること、体を動かす楽しさ、運動やスポーツの特性や魅力に応じた楽しさ、人々と協働する楽しさなどを味わう多様な楽しみ方があることなどを中心として構成している。

(2) 生徒観

本学級は、男子18名、女子14名計32人である。明るく意欲的な生徒が多く、保健体育科の授業にも積極的である。アンケート調査を行ったところ、体を動かすことや仲間とスポーツを楽しむこと等スポーツや運動の楽しさについて前向きな考えをもっている生徒が多い。また、ほとんどの生徒が、中学生になり自分の体力を高めたいと感じている。反面、運動や体を動かすことを苦手と感じている生徒もおり、運動部に入っていない生徒の中には、体育の授業以外は体を動かさないという生徒もいる。運動習慣や能力に大きな差がある。

(3) 学習を進めるにあたって

本単元の指導にあたっては、スポーツや運動に関心が高い生徒にも、関心をもっていない生徒にも、運動やスポーツの多様性や多様な楽しみ方に気づくことができるように教材や学習形態の工夫をしていきたい。生徒にとっては体育理論の学習は初めてである。生徒が意欲的に学習できるように、体育大会などの経験を振り返ったり、生徒が興味・関心をもっているオリンピックの内容を扱ったりしていきたい。本時においては、運動やスポーツの楽しみ方を「する」の観点を中心にして授業を展開していきたい。話し合い活動やKJ法などの活動を設けることで、様々な意見や考えを交流させ、その中から自己に適した生涯における運動やスポーツへの楽しみ方を考えさせることで、保健体育科の目標である豊かなスポーツライフの実現へとつなげていきたい。

4 単元の評価規準

	知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	運動やスポーツが多様であることについて理解できる。	運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。	運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むことができる。
学習活動に即した評価規準	<p>①運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生み出され発展してきたことについて理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>②運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があることについて理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>③運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることについて理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>④世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることについて理解したことを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>①運動やスポーツの必要性和楽しさ、運動やスポーツへの多様な関わり方、運動やスポーツの多様な楽しみ方について習得した知識を活用して、運動やスポーツとの多様な関わり方や楽しみ方についての自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて、思考し判断するとともに、自己の意見を言語や記述を通して他者に伝えられる。</p>	<p>①運動やスポーツが多様であることについて、情報を集めたり、意見を交換したりするなどの活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p>

5 指導と評価の計画

		第1時	第2時	第3時	第4時（本時）
主な学習内容・学習活動		運動やスポーツの必要性和楽しさ	運動やスポーツへの多様な関わり方	運動やスポーツの学び方	運動やスポーツの多様な楽しみ方
		○運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりする必要性や、競技に応じた力を試したり、記録等を達成したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生みだされてきたこと。	○運動やスポーツには、「する、見る、支える、知る」などの多様な関わり方があること。	○運動やスポーツには、特有の技術や戦術があり、その学び方には一定の方法があること。	○世代や機会に応じて、生涯にわたって運動を楽しむためには、自己に適した運動やスポーツの多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であること。
		<ol style="list-style-type: none"> 1 本時の学習のねらいを確認する。 2 自分の知っている運動やスポーツを挙げる。 3 それぞれの運動やスポーツにはどんな楽しさや必要性があるか考える。 4 本時のまとめ、次時の確認をする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時の学習のねらいを確認する。 2 運動会を振り返る。 3 オリンピックの写真を見て、どのような人が大会に関わっていたか考える。 4 3で考えたことを班で話し合い、分類し発表する。 5 本時のまとめ、次時の確認をする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時の学習のねらいを確認する。 2 スポーツの学び方・技術の学び方・戦術・表現の仕方と学び方を知る。 3 課題に応じた練習計画を立てる。 4 練習計画を発表する。 5 本時のまとめをする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時の学習のねらいを確認する。 2 設定された条件に合うスポーツの楽しみ方を考える。 3 様々な運動やスポーツの楽しみ方の分類をする。 4 生涯にわたって運動を続けるための環境や運動の工夫の必要性を確認する。 5 本時のまとめをする。
評価機会等	知	①【ワークシート・観察】	②【ワークシート・観察】	③【ワークシート・観察】	④【ワークシート・観察】
	思	①【ワークシート】			①【ワークシート】
	主		①【ワークシート・観察】		

6 本時の目標

- ・ 世代や機会に応じて、生涯にわたって運動を楽しむためには、自己に適した運動やスポーツの多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることについて理解したことを言ったり、書き出したりすることができるようにする。(知識)
- ・ 自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて、思考し判断するとともに、自己の意見を言語や記述を通して他者に伝えている。(思考・判断・表現)

7 学習指導過程

段落	学習内容及び学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
はじめ 1 0	1 様々な年代がスポーツをしている写真を見せる。 2 教科書代替資料のウォームアップを活用する。 3 本時の学習のねらいを確認する。	・スポーツの楽しさを考える上で参考になるような情報を与える。 ・成人になるとスポーツ実施率が著しく低下することに気付かせる。
自分に合った運動やスポーツの多様な楽しみ方を考えよう		
なか 3 0	4 多様な楽しみ方を分類し、タイトルをグループで考える。 5 4で考えたことを発表する。 6 教科書を活用して、知識の確認をする。 7 設定された条件に合う運動やスポーツの楽しみ方を考える。 8 考えた楽しみ方をグループ内で発表し合う。	・第1時に出された生徒の意見が書かれたカードを各班に渡し、分類させる。 ・分類されたまとまりごとにタイトルを考えさせる。 ・友人の考えを聞きながら、自分の考えと比較し深めさせる。 ・様々な世代や機会に応じて運動やスポーツに親しんでいる写真を提示して、思考を深める。 ・運動が得意な人だけでなく、自己に適した楽しみ方を見つけたり工夫したりすることが大切であることを想起させる。 ・ワークシートを活用し、自分の好きなスポーツを挙げ、様々な世代機会に応じた楽しみ方を考えさせる。◆(知④)(思①)【ワークシート】
おわり 1 0	9 生涯にわたって運動を続けるための環境や運動の工夫の必要性を確認する。 10 本時のまとめをする。	・仲間、空間、時間について考えさせる。